



平成 28 年 10 月 31 日

各 位

上場会社名 株式会社サンリツ
代表者 代表取締役社長執行役員 三浦 康英
(コード番号 9366)
問合せ先責任者 取締役常務執行役員 田中 光晴
(TEL 03-3471-0011)

第 2 四半期累計期間業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 5 月 10 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)の業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績の差異

平成 29 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想値と実績値の差異(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,220	百万円 180	百万円 110	百万円 50	円 銭 8.33
今回発表実績(B)	7,187	218	158	37	6.45
増減額(B-A)	△32	38	48	△12	
増減率(%)	△0.5	21.1	44.3	△24.1	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成28年 3 月期第 2 四半期)	7,711	324	252	48	8.16

2. 差異が生じた理由

売上高につきましては、海上貨物における工作機械の取扱額が低迷したものの、積極的な営業活動により航空貨物の取扱額が増加基調となったことに加え、半導体製造装置の取扱額が想定以上に増加したことにより、ほぼ予想どおりに推移いたしました。

利益面につきましては、人員の効率的な配置による労務費削減のほか、米国連結子会社において、工作機械におけるスチール梱包業務が軌道に乗り始めたことにより、営業利益、経常利益とも当初予想より増加する見込みとなりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、中国連結子会社の出資持分一部譲渡による関係会社株式売却損が影響したこともあり、当初予想を下回る見込みとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、従来予想から変更はありません。

※当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づき記述したものでありますが、この記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により異なる可能性があることをご留意ください。

以 上